



今月の案内人
東京都北区 吉田 渉さん



★弥厚公園
(和泉町)



明治郵便局隣の弥厚公園にある銅像。この像は明治用水計画の基礎を作り、この地域を発展に導いた都築弥厚翁の遺徳をしのぶために建立されました。その制作はわたしの父で彫刻家の吉田三郎が行っています。父は全国各地で多くの銅像を制作しましたが、都築弥厚の銅像はその原点となる記念の作品です。

初めに都築弥厚の銅像ができたのは大正8年のことです。当時、どのような経緯で父に依頼があったのかはわかりませんが、明治用水普通水利組合と明治村が主体となってこの像は建立されました。しかし、初めに建立された像は、昭和19年に戦争のため金属回収で供出されてしまったのです。現在建っている銅像は、像再建の機運が高まったため、昭和26年に再び父

の制作で建立されたものです。その当時の様子はわたしもおぼろげながら覚えています。先日、家の整理をしているときに像の原型や再建時に明治村から送られてきた書簡などの資料を見つけました。今回、安城市を訪れ、実際に父が造った像を見て、そして、その背景を知ることにより、その資料が生き返ったような感じがします。同時に、わたし自身の父の思い出もまた新たによみがえりました。



吉田三郎
(明治22年～昭和37年)
石川県金沢市出身
日本芸術院賞
日本芸術院会員
文展、帝展、日展の
審査員を歴任する

その16

都築弥厚の銅像

